

# 事業再評価(原案)

東九州自動車道  
(北九州JCT ~ 豊津IC)

# 1. 事業概要 (北九州JCT ~ 豊津IC)

路線名: 高速自動車国道 東九州自動車道

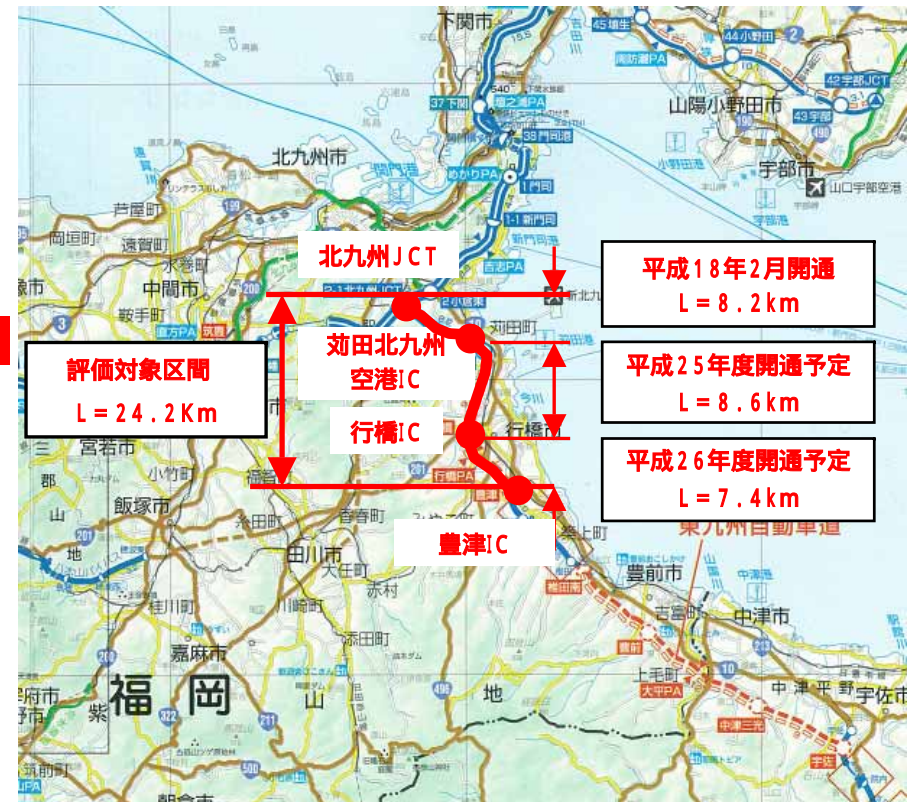
区 間: 福岡県北九州市小倉南区 ~ 福岡県京都郡みやこ町

延 長: 24.2km(うち開通済み8.2km)

規 格: 第1種第2級、設計速度 100km/h (完成型)

車線数: 暫定2車線(用地4車線)

事業費: 1,550億円



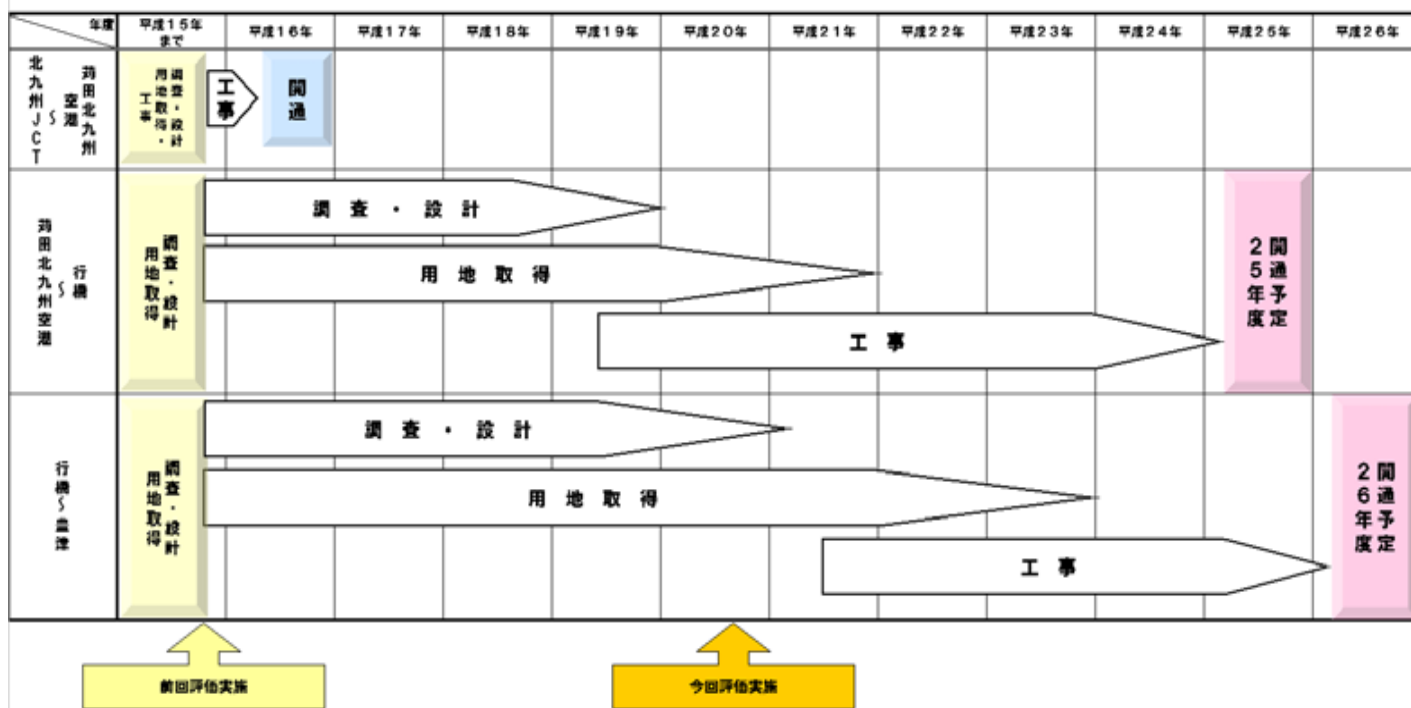
# 2. 事業の経緯及び進捗状況

## 事業の経緯

整備計画	平成 8 年 1 2 月
施行命令	平成 9 年 1 2 月
実施計画認可	平成 1 0 年 1 月
整備計画変更	平成 1 8 年 2 月
事業変更許可	平成 1 8 年 3 月
北九州J-	
苅田北九州空港 開通	平成 1 8 年 2 月
苅田北九州空港-行橋開通予定	平成 2 5 年度
行橋 - 豊津開通予定	平成 2 6 年度

## 進捗状況(平成20年度末見込み)

事業進捗率	5 2 % (事業費ベース)
用地取得率	8 5 % (面積ベース)
工事着手率	5 9 % (延長ベース)
【現在の状況】	
苅田北九州空港-行橋	用地取得がほぼ完了し、本線工事が本格化してきている。
行橋 - 豊津	用地取得が進んでおり、工事着手に向けて関係機関と協議調整中である。

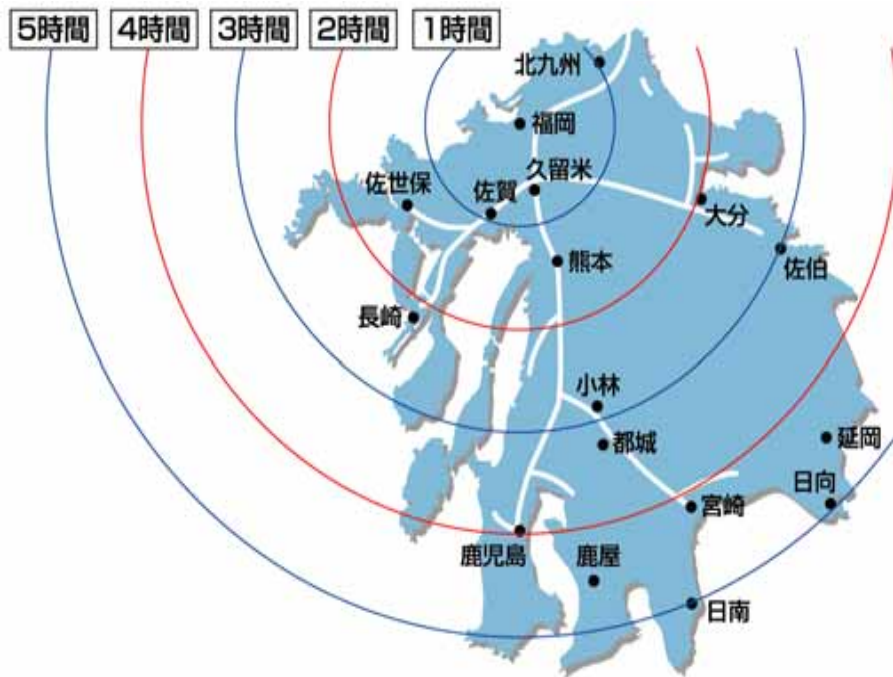


# 3 . 事業の整備効果

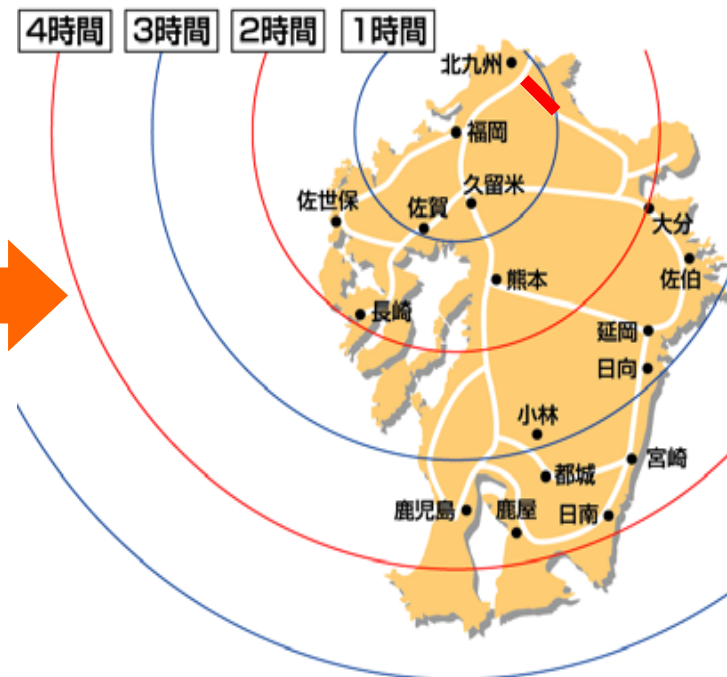
九州の高速道路ネットワークが形成され、福岡市と各都市への移動所要時間が大きく短縮される。

**現況**

(平成17年)



**将来**



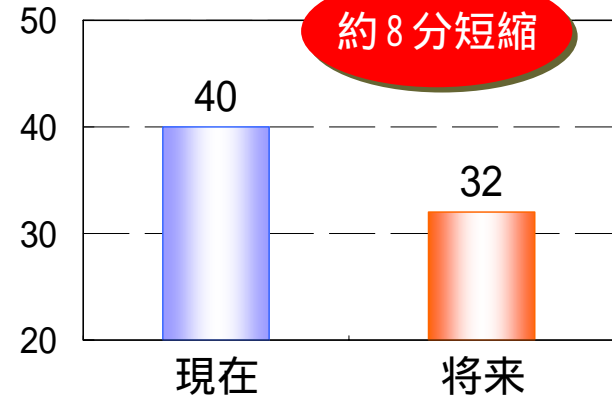
資料:道路時刻表(2004~2005)

# 3 . 事業の整備効果

東九州道が整備されることにより、各施設へのアクセスが向上する。

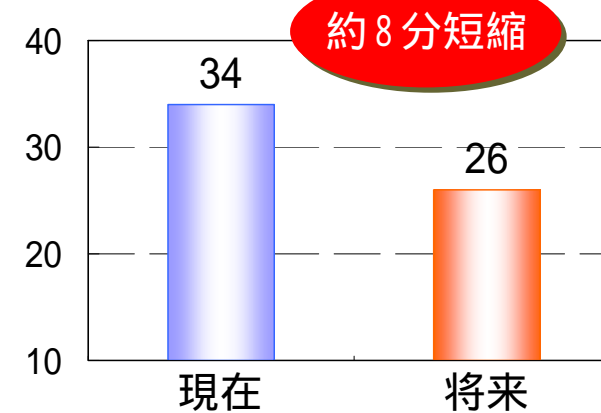


**JR小倉駅へのアクセス向上**  
行橋市からJR小倉駅への所要時間が短縮される。



参考: 道路時刻表 (2007 ~ 2008)

**三次医療施設へのアクセス向上**  
行橋市から北九州総合病院への所要時間が短縮される。



参考: 道路時刻表 (2007 ~ 2008)

# 3 . 事業の整備効果

東九州道沿線では、多くの誘致計画が進められており、企業誘致により地域産業が発展し、雇用の確保の促進が期待される。

## 苅田北九州空港IC周辺

名称	誘致率(%)	備考
北九州臨空産業団地	92.5	
苅田臨空産業団地	96.5	
松山工業団地	84.2	
新松山工業団地(仮)	造成中	H23年度1期工事完了予定

参考:福岡県の工業団地(H19)  
誘致率:分譲用済面積/造成済面積

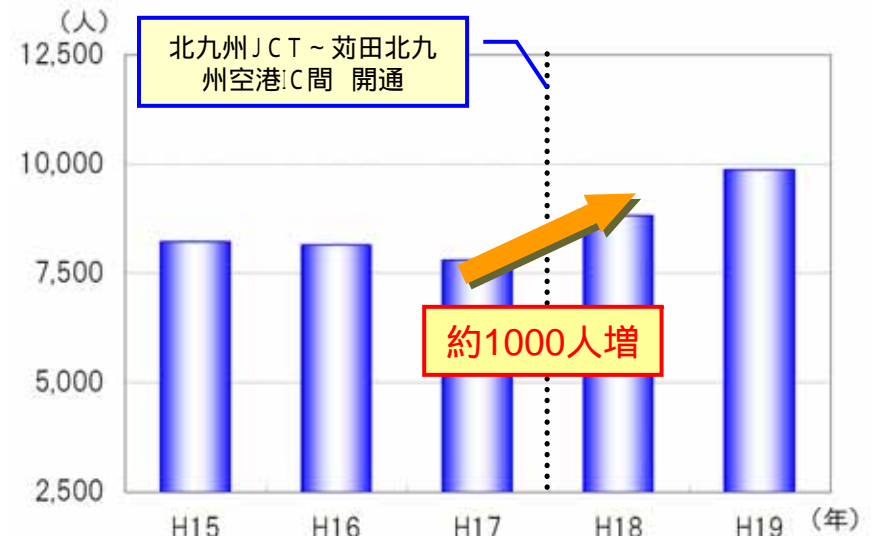


### 〔事例 福岡県苅田町〕

平成18年 北九州JCT～苅田北九州空港IC間 開通

平成17年12月 苅田町で自動車関連工場操業開始  
平成20年 8月 北九州市で自動車関連工場操業開始

### 製造業従業員数の変化



資料:福岡県の工業統計調査結果による各年12月31日時点の従業員数

➡ 苅田北九州空港ICより南部地域に延伸することにより、さらなる企業誘致、雇用の確保が期待される。

## 4 . 費用便益分析の結果

### 区間) 東九州自動車道(北九州JCT ~ 豊津IC)

便益(B) (現在価値：H20)	走行時間短縮便益	2,627 億円
	走行経費減少便益	280 億円
	交通事故減少便益	124 億円
	計	3,031 億円
費用(C) (現在価値：H20)	事業費	1,477 億円
	維持管理費	150 億円
	計	1,628 億円



**費用便益比 B / C = 1 . 9**

費用便益分析マニュアル( H 2 0 . 1 1 国土交通省道路局都市・地域整備局 ) に基づき算定

注 1 ) 費用及び便益額は整数止めとする。

注 2 ) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 5．対応方針（原案）

### 事業の必要性等に関する視点

費用対効果（B / C）は1.9である。

- ・九州の高速道路のネットワーク形成
- ・主要施設へのアクセス性向上
- ・物流の効率化による地域産業の活性化

など、便益に反映されていない効果も含め、当該区間の必要性は高い。

### 事業進捗の見込みの視点

苅田北九州空港IC～行橋IC

- ・供用予定は平成25年度であり、現在、用地取得がほぼ完了し、本線工事が本格化してきている。

行橋IC～豊津IC

- ・供用予定は平成26年度であり、現在、用地取得が進んでおり、工事着手に向けて関係機関と協議調整中である。

### 対応方針（原案）

#### 【事業継続】

関係機関の協力を得ながら、早期の供用を目指し、事業の進捗を図っていきたい。 - 7 -